

作成日 2025 年 9 月 1 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：脳動静脈奇形に対する脳血管内治療の効果

1. 研究の対象

2017 年 1 月～2025 年 12 月に当院で脳動静脈奇形の治療を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日 (変更申請後は初回承認日記載) ～2027 年 3 月 31 日

3. 情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2025 年 10 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

脳動静脈奇形の治療において術前塞栓術の新規デバイス導入前後(2017 年)における術前塞栓術および摘出の治療成績を検討し、これらのデバイスが摘出の周術期成績に与える影響を検証します。

5. 研究方法

当院で治療された方の診療録データを使用します。すべて既存の情報であり、本研究のために新たに取得する資料や情報はありません。

6. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、発症形式、ナイダスサイズ、Spetzler-Martin 分類、塞栓術の回数、塞栓血管数、ナイダス内塞栓、血管穿孔、塞栓術合併症、硬膜内操作時間、出血量、症候性合併症、最終 modified Rankin Scale など

7. 外部への情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反 (企業等との利害関係) について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院脳卒中科 担当 伊藤嘉朗
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：029-853-3220（平日 8:30～17:15）

当院の研究責任者：筑波大学附属病院脳卒中科 伊藤嘉朗